



2017. 5. 1

5月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

満開の桜を見ながら始まった1学期も1ヶ月が過ぎて、今は八重桜が満開です。昨冬、素人作業で枝を剪定した藤も、たくさんの花芽が芽吹いてほっとしています。

子どもたちには、それぞれの個性が少しずつ表現され始めたように思います。幼稚園が自分の居場所として認識され始めたのでしょう。緊張感に閉じこもっていた自分の殻や、もしかしたら被っていた猫の皮が、そろそろ暑苦しくなってきたのかもしれない。

幼稚園という環境は「ずっと同じ」ということはなくて、教諭も、時には施設や設備も変わりますし、クラスの仲間も保育室も変化します。そういった変化に対応していくことで、子どもたちはまたひとつ自信を持っていきます。

新年度になって、以前は毎朝笑顔で登園していた子がお母さんから離れられなかったり、幼稚園に行きたくないとぐずったりしています。これは、「折角慣れてきていたのに(元に)戻ってしまった」のではなく、新しい環境に適応して、周囲と新しい関係を作っていく、その過程で自信をまたひとつ獲得していく、そのために必要なステップだと思います。

春休みの間、教諭たちは新しい年度の準備に追われました。それは、学年の終了や保育修了式までを視野に入れて目標を定め、毎日の保育をどのように積み上げていくかを計画する、1年間の設計図を描く作業でした。

そして新学期が始まると、子どもたちの実際の様子に合わせて計画を修正していくために、保育終了後の職員室では、あちこちでディスカッションが行われています。十分な準備と、保護者の方々のご理解とご協力があつてこそ、子どもたち一人ひとりをしっかり受け留めて育んでいくことができる。そう考えています。1年間どうぞよろしく願いいたします。

年主題 『愛されて育つ』

<年主題聖句> 「あなたがたは神に愛されている子供です」

(エフェソの信徒への手紙 5章 1節)

5月主題 『感じる』

<聖句> 「私たちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます」

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章 18節)